

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1059	指導者育成事業	01	01	一般会計
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	10	10	教育費
			05	05	社会教育費
			03	03	同和教育費
担当部課名	教育部 寺田教育集会所		101	101	指導者育成経費
作成者氏名	鈴木 重儀	連絡先	23-8728	01	指導者育成経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	地域住民、寺田教育を考える母の会	社会同和教育、部落問題学習の直接指導や学習相談、併せて社会教育団体の育成を図り、部落差別の解消に努める。					
本年度事業内容	1 地域住民に対する社会同和教育上の相談や直接指導。 2 小中学校地区学習会の助言や直接指導。 3 寺田教育を考える母の会の育成。 4 保小中高の教育機関との連絡調整。						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市社会同和教育指導員設置に関する規則

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,411	2,447	2,447
委託料			
報酬	2,152	2,152	2,152
共済費	257	259	259
その他	2	36	36
合計(A+B)	3,131	3,167	3,167
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,131	3,167	3,167
上記①～③に関する特記事項			
② 社会同和教育指導員1名			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
1 相談件数	回	5	5	5			
2 指導	回	随時	随時	随時			
3 定例会	回	7	7	7			
4 連絡調整	回	12	12	12			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
3 隔月の定例会を設定	会員として定例会に参加し、併せて子どもの教育相談や会の活動方針や実際の運営に参画し、健全育成に努める。また、母の会の呼びかけで小中学校同和推進教員と語る会や寺田高校生友の会に参加し、地区の社会教育力の向上に努める。	回	7 目標 (7)	7	7
4 月2回の定例会に参加	子どもの健全育成に学校と地域、家庭との連携を図る。授業参観へ出席。	回	12 目標 (12)	12	12

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

寺田教育を考える母の会の育成指導により、自主的活動団体に成長しつつある。指導員としての長年の経験から資質の成長が見られ、指導業務に円滑に遂行し地域住民の社会教育力の向上に貢献する。
--

評価	必要性	4	地域住民の交流を図るには、地区住民の社会教育力の向上が不可欠。閉鎖性の強い住民の相談相手としての指導員は、思いを共有出来ることが信頼関係を築く上で望ましい。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A